

## 令和7年度 桜樹地区タウンミーティング 発言要旨

【日 時】令和7年9月21日(日)10:00~11:30

【場 所】桜樹公民館 2階 ホール

【参加者】地域:14人(桜樹地区連合自治会長ほか)

市 :市長、副市長、市民生活部長、環境部長、桜樹公民館長(司会)

※市長他の公務のため10時30分頃退席

【テーマ】(1)丹原地域よりそいタクシーについて

(2)ゴミの不法投棄対策について

### R7.9.21 当日の発言内容

(1)丹原地域よりそいタクシーについて

#### ▶タクシーチケットの配布

##### ■参加者(テーマ説明)

- ・病院などの目的場所によっては、よりそいタクシーでは時間が合わないので、どうしてもタクシーを利用しなければならないことがある。
- ・丹原地域以外では西部支所と周桑病院で降車できるが、それだけでは不便。
- ・必要とする人にはタクシーチケットを配布してほしい。希望者には枚数を増やすなど考えたらいい。

##### ●市長

- ・現在、補助金でタクシーチケットを配布しているが、どの程度必要なのか教えて欲しい。

##### ■参加者

- ・多い方では月6万円程度のタクシー代がかかるようだ。現在、年間12枚のタクシーチケットの配布があるが、希望者には配布枚数を増やしてほしい。

##### ●市長

- ・予算規模も関係する。また、他の地域との整合性が関係してくる。
- ・タクシーチケット配布の増量については、予算も関係してくるので、ここでは回答できないが、調査していきたい。
- ・今後、よりそいタクシーの運行状況を調査して、必要に応じて検討していきたい。

##### ●市民生活部長

- ・福祉部から西条市全体の非課税世帯を対象に年間12枚配布している。
- ・よりそいタクシーは交通空白地域を解消するために週2回運行しており、丹原地域は10月から制度を改

正する。東予方面では、乗降場所を西部支所・周桑病院の2か所に限定し、丹原地域では乗降場所を増やした。アンケート等を行い、改善を図っている。

- ・よりそいタクシーは西条地域、東予地域等の地域でも運行しており、西条地域の方が稼働率が高い。
- ・桜樹地区では、午前中に壬生川方面、午後に桜樹方面と一方向の運行であったが、復路の便も作った。
- ・不便もあると思うので、運行開始後にアンケートを行いさらに改善を図っていきたい。

#### ■参加者

- ・バスは毎日利用できたが、よりそいタクシーでは運行日が限定されており、予約のめ切も早いので乗りたい時に乗れない。
- ・丹原のスーパーの駐車場でよりそいタクシーの帰りの便を待っている人がいた。暑い時期に長時間待機させるのは問題だと思う。
- ・運行しているバスの利用状況は調査しているのだろうか。
- ・西条のよりそいタクシーは、予約の締め切り時間が早くて利用しにくい。

#### ●副市長

- ・そういった声があるということをお聞きした。今後、どのようにしていけば良いか考えていきたい。
- ・今回、丹原地域内での降車希望地を自由にした。
- ・待機場所もスーパーの近くにするなど、改善できるところは改善していきたい。

#### ■参加者

- ・片道みの利用はできないか。帰りは、帰る時に連絡して来てもらうということはどうだろうか。
- ・民間バスだからこそ融通を利かせてほしい。

#### ●副市長

- ・おっしゃる通り復路は融通が利きづらいと思う。今後の課題として考えていきたいが、現行の体制では難しいと思う。

#### ■参加者

- ・民間事業者だからこそやってほしい。
- ・タクシーチケットの配布については、非課税世帯ではなく高齢者を対象にしてほしい。

#### ●市長

- ・対象者を限定することがベストとは言い切れない。予算規模や対象者数を検討課題として持ち帰り、時期を見てご報告する。

#### ■参加者

- ・千原地区は道が狭く危険な場所が多い。タクシーに来てもらえるかわからないが、市は把握しているのか。

●市長

・大丈夫なようだ。

■参加者

・よりそいタクシーに乗りたい時に乗れないと言う人もいるので、もっと便利にならないか。また、自分が車を運転できなくなった時のことが心配だ。  
・新居浜市は乗車の1時間前まで予約ができる。市民に寄り添った形でできるようにしてほしい。

●副市長

・10月から改正されるが、できるかぎり改善していく。新居浜の運行も参考とし、今後の課題とさせていただきたい。

■参加者

・スーパーは、買い物が済めばお店にはいられないので、店内によりそいタクシー利用者の待合場所があればいいと思うが、市から民間企業に交渉しているのか。

●市長

・お店によってはそういったスペースがあるので、交渉の検討はできるのではないかと思う。

●環境部長

・タクシーの待合場所ではないが、熱中症対策として公共施設等で涼んでいただけるクーリングシェルターを実施している。今後も店舗(民間)等をお願いしていきたい。

■参加者

・市で必要だと思う場所を考え、すぐをお願いしてほしい。暑い中や寒い中、外で待っているお年寄りがいるが、勝手に声をかけることもできない。クーリングシェルターを実施している公共施設まで歩いていくことも難しい。

●市長

・スーパーの空きスペースなどを確認し、市から設置のお願いをしていけたらと思う。

■参加者

・クーリングシェルターはどこにあるのか。丹原地域にはあるのか。

■環境部長

・公共施設では、西部支所、サービスセンター、食の創造館といった施設で実施しており、民間企業と公共施設全体で13施設ある。丹原地域では丹原サービスセンターのみ。今後も民間施設等をお願いしていきたい。

## (2)ゴミの不法投棄対策について

### ▶不法投棄

#### ●地域(自治会長)

- ・冷蔵庫や洗濯機、テレビなどの不法投棄があってもそれを回収する人がいない。
- ・臼坂では、ゴミステーションに回収されないゴミが多く出されるので、一時閉鎖して、燃えないゴミの収集場所を変えて鍵をかけている。
- ・山間部は不法投棄が非常に多いので、対策を検討していただきたい。

#### ●副市長

- ・市内には山間部が多く、どうしても不法投棄が問題となる。
- ・対策については後追いにはなるが、情報をいただき不法投棄の看板やカメラの設置をしていくという対策を取っている。カメラの設置は一定の効果がみられる。
- ・家電の廃棄については、マナー順守を市民に啓発していく。

### ▶ごみ袋

#### ■参加者

- ・無料の指定ごみ袋の使用が今年12月までとなっているが、まだ残っている世帯もある。なぜ、使い切るまで使用できないのか。ごみ袋をごみにして出さなければいけないのか。  
西条市はごみ袋の料金が安い。年金が少ない人は生活がしんどい。そういった人がなぜ利用できないのか。
- ・燃えないゴミは毎週水曜日にしか収集に来ない。また、ゴミステーションが遠いので、持っていけない高齢者もいる。松山市では、高齢者の場合近くまで職員が自宅に収集に来てくれる。

#### ●環境部長

- ・令和4年度に桜樹公民館にもごみ有料化について説明に伺った。これまで世帯人数に関係なく、1世帯につき1箱配布していた経緯があるので、余っている世帯があるのだと思うが、ごみ処理費用の一部を市民の皆様にも負担いただくため従量制という形で有料化した。
- ・これまで配布したごみ袋の使用期限は2年とし、この3月末までであったが、議会の承認を得て使用期限を12月30日まで延長した。
- ・余ったごみ袋は回収して市の方で有効に活用させていただきたい。
- ・高齢者の戸別収集については、一定の条件を満たしている場合に対応する方法を検討している。先進自治体では週1回行政が回収に行く事例もある。見守りを含めた事業をできればと考えている。

#### ■参加者

- ・ごみ袋が指定されていない地域もある。

#### ●環境部長

- ・松山市や新居浜市は指定ごみ袋ではない。

・西条市も以前は指定していなかったが、ごみステーションを管理している自治体等からの声で、指定ごみ袋制度を導入した経緯がある。指名記入欄についても自治会から要望があり設けている。

■参加者

・西条市のごみ制度は市民や高齢者にとって優しくないと思う。粗大ごみの料金が低い。

●環境部長

・ごみの有料化に合わせ、事前申込の上、自宅の道路沿いに粗大ごみを出していただければ回収できるように、戸別収集制度に変更した。

■参加者

・余ったごみ袋は回収されるのか。

●環境部長

・公民館等に持参いただければ回収する。

■参加者

・新しいごみ袋は破れやすいので、しっかりしたものにしてほしい。以前は、燃えないごみ袋の方が燃えるごみの袋より分厚かった。

●環境部長

・袋の厚みは令和4年度配布のものと同様変わらない。取っ手がついたもので形状は異なっているが、容量も同じである。

・燃えるごみ袋の厚さは 0.03mm で、燃えないごみ袋の厚さは、0.035mm である。

■参加者

・ごみ事業の赤字縮小のために有料化すると聞いていた。有料化後の決算(令和 5、6 年度)を知りたい。有料化後に不法投棄が増えたように思う。不法投棄があった場合、市に連絡するように言われているが、どのような対応をしてくれるのか。

●環境部長

・4 年度と 5 年度の比較では、約 15% 減少、5 年度と 6 年度では、約 5% 減少している。

・広報にも掲載しているが、決算としてはごみ処理費用に約 10~11 億円要しているため、ごみ袋関連で約 2 億円の収入とはなっているも、有料化後 2 年間で運営に大きな影響が出ているわけではない。

・現状で不法投棄が増加しているとは感じない。

▶監視カメラの設置

■参加者

- ・ごみステーションへの監視カメラ設置に係る補助はないか。電源設備がある場合、工事費が10万円程度かかるので、検討をお願いしたい。

●環境部長

- ・ごみステーションの管理は地域にお願いしているが、回収できない違反ごみが出された場合は、連絡を受けて、直接市の職員が確認している。監視カメラはごみステーション利用者に設置の承諾を得た上で、看板を設置し、市で簡易的な監視カメラで違反者の特定を行っている。電源を伴う本格的な監視カメラの設置には至っていない。
- ・日頃から地域の皆さんが問題意識を持って取り組んでいる地域は、マナーが守られている。引き続き管理等をお願いし、見守っていただきたい。できる限り市も協力していきたい。

■参加者

- ・不法投棄があったが、市がすぐに対処してくれた。
- ・注意看板は毎年もらえるのか。

●環境部長

- ・プラスチック製の看板をお渡しできるが、希望枚数が多いようであればラミネートをした簡易版をお渡ししている地域もあるので、相談いただきたい。

■参加者

- ・2～3週間前に注意看板を設置した場所に不法投棄されているので、帰りにでも現場を確認してほしい。

▶ごみの分別

■参加者

- ・以前、市にごみ分別の説明をしてもらったが、余計にわからなくなった。
- ・粗大ごみを出す場合はどのように出すのか。小さな粗大ごみ一つでも個別収集が必要か。クリーンセンターに持ち込むことは可能か。

●環境部長

- ・基本的には、品目に沿って分別してほしい。原則、ティッシュ箱より小さいプラスチック製品は燃えるごみとして出すようお願いしている。
- ・クリーンセンターに持ち込めば、10 kgにつき100円で処理できる。

▶ごみ出前講座

■参加者

- ・前回タウンミーティング時の「子供の頃からごみについて教育をしてはどうか」という意見に対し、回答してもらえていないように思う。

●環境部長

- ・通常、出前講座を実施しており、小学4年生に対して実施しているところもある。
- ・地域等から依頼があれば、出前講座で訪問している。

■参加者

- ・市が分別などをお願いする立場であるならば、積極的に説明に行けばいいのではないか。

●環境部長

- ・出前講座は、今後も継続して実施していきたい。地域の文化祭などでもごみに関する啓発活動を行っている。